



横浜地方裁判所の慰霊碑

『世に天災地変は多し されども大正十二年九月一日関東地方一府五県を襲いし震災ほど強烈にして而もその被害の大なりしは近時他に類例を見ざることなり……(後略)……』という書きだしの大きな慰霊碑が神奈川県庁に近い横浜地方裁判所の正面玄関わきにたてられています。

当時の横浜地方裁判所はみごとな煉瓦づくりの建物でしたが、執務中の末永所長をはじめ判事、検事、弁護士さらには裁判所の召喚に応じて出廷していた証人や鑑定人など多くの人々が建物とともに厄難をうけました。横浜市内で一つの建物での死者が一番多かった



のが、この裁判所であったようです。石碑の裏には所長以下新聞記者、在庁者を含め94名の殉難者氏名がきざみこまれています。

なお、この碑は市の復興がほとんどできた昭和十年九月一日にたてられました。

(大井町) 平野 富雄